

## 事務事業計画書兼評価表(A表)

### 1 事務事業に関する基本情報

				平成	25	年度
事業番号	377		事業名	外国青年招致事業費		
担当課	学校教育課		担当係	学校教育係		
総合計画に最も関連ある施策	施策	4	豊かな心を育み文化の薫るまちづくり	連絡先	84-1231	
	施策体系	1	学校教育の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	
	主な事業	各学校における外国語指導			<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 八頭町	
	項	1	教育総務費		<input type="checkbox"/> その他	
	目	5	外国青年招致事業費	計画期間	開始	—
	事業	377	外国青年招致事業費		終了	—

### 2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 各小中学校の児童、生徒に対し外国語(英語)の指導を行う。		
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 生きた外国語に接することで、外国語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力を向上させる。		
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載。 小中学校における外国語活動等の補助、日本人教師の外国語授業の補助、外国語教材作成の補助、外国語スピーチコンテストへの協力		
事業の手段	どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 各中学校に週2～3日、各小学校に週1日、ALT2人体制で活動を行う。		
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 中学校の英語力の向上及び小学校における外国語活動に親しむ活動や異文化の理解を図り、英語活動を充実させること。		
根拠法令等	5	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし	法令等名→

### 3 活動指標、成果指標

活動指標	単位	事業の手段を図るものさし	
	A	日数	各中学校に週2～3日、各小学校に週1日、ALT2人体制で活動を行う。
	B		
	C		
	D		
成果指標	単位	事業の成果、到達点を図るものさし	
	A		
	B		
	C		
	D		

### 4 コスト

区分	単位	23年度	24年度		25年度		26年度	27年度
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標
活動指標	A	日数	各中学校に週2～3日、各小学校に週1日	各中学校に週2～3日、各小学校に週1日	各中学校に週2～3日、各小学校に週1日	各中学校に週2～3日、各小学校に週1日	各中学校に週2～3日、各小学校に週1日	各中学校に週2～3日、各小学校に週1日
	B							
	C							
	D							
成果指標	A							
	B							
	C							
	D							
トータルコスト	千円	8,343	8,881	8,025	8,934	8,632	8,651	8,651
担当職員数	人	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
職員人件費	千円	246	246	246	240	240	240	240
事業費	千円	8,097	8,635	7,779	8,694	8,392	8,411	8,411
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円						
	県支出金(交付金・補助金)	千円						
	地方債(借入金)	千円						
	事業収入(使用料・参加費等)	千円						
一般財源(単町費)	千円	8,097	8,635	7,779	8,694	8,392	8,411	8,411

## 事務事業計画書兼評価表(B表)

### 5 実施活動内容・成果(到達点)

平成 25 年度

実施活動内容・成果(到達点)	実施活動内容(具体的に)
	外国語指導助手(ALT) グロスベック ギャレット プレントン(任期:平成24年8月1日～平成26年7月31日) 勤務校:中央中学校、郡家東小学校、郡家西小学校、船岡小学校、隼小学校、大江小学校 ホイン ジョセフィン チークアン(任期:平成25年7月29日～平成26年7月28日継続) 勤務校:船岡中学校、八東中学校、丹比小学校、八東小学校、安部小学校
	成果(具体的に)
生きた外国語に接することで、外国語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力を向上させ、外国語スピーチコンテストに参加。	

### 6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
<b>必要性</b> (町民ニーズ)	13	20	①必要性が高い	国際化に向け、英語力の向上と異文化理解の精神等を身に付け、外国語教育の強化を図るために必要。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
<b>妥当性</b> (町が行わなければならないか)	13	20	①町が行わないといけない	生きた外国語と接することができ語学力の向上が図られている。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
<b>効率性</b> (コスト削減の余地は無い)	7	20	①効率的である	総務省、外務省、文部科学省及び自治体国際化協会の協力のもと、地方公共団体が実施しており継続することが望ましい。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
<b>緊急性</b> (他事業に優先し実施する必要があるか)	13	20	①緊急性が高い	生きた外国語に接するといった点では、緊急性が高いが、英語教員の指導によっては、緊急性は低い。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
<b>成果</b> (目的の達成状況)	13	20	①成果が上がっている	夏期休業中、スピーチコンテストのため、個別指導を行っている。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	

一次評価	事業の方向性	点数	評価点合計	判定に至った理由
<b>3</b>	1、拡充する	80点以上	<b>59</b>	小学校高学年においても「外国語活動」が必須となっている。英語教育の要望は高まっており無くてはならない事業である。また、英語を使ってALTとのコミュニケーション活動を行うことにより、英語学習への強い動機付けとなっている。
	2、現状維持	60～79点		
	3、改善・効率化し継続	50～59点	<b>3</b>	
	4、見直しの上縮小する	40～49点		
	5、終期設定し終了	30～39点		
	6、休止	20～29点		
	7、廃止	19点以下		

二次評価	事業の方向性	判定説明・意見
<b>3</b>	1、拡充する	生きた外国語に接することで、外国語に慣れ親しみ、コミュニケーション能力を向上させる目的で事業を実施している。近年、小学校高学年においても「外国語活動」が必須となっている。今後も、中学校の英語力の向上及び小学校における外国語活動に親しむ活動や異文化の理解を図り、英語活動の充実を図られたい。
	2、現状維持	
	3、改善・効率化し継続	
	4、見直しの上縮小する	
	5、終期設定し終了	
	6、休止	
	7、廃止	

### 7 課題及び今後の方向性

課題	事業活動に当たり、一番の問題と捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所  長期休業中のALTの活動の場を増やし、学校行事以外でも多様な交流を設けたい。
今後の方向性	上記課題を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか  指導主事、他課との連携を図り、成果などの目標を明確にしたい。また、中学校統合後は小学校での活動日数を増やしたい。